

坂川のさかなを調べてみよう！

7 月 18 日午後 1 時半～ 宮園親水公園
「坂川」と「みやぞの池」の魚を展示・解説

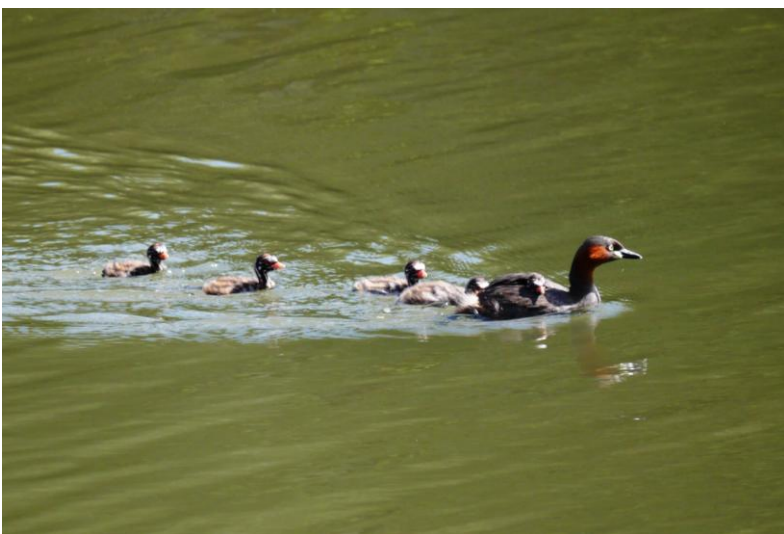
身近にある坂川ですが、どんな魚がいるのか知っていますか。釣りに関心のある人ならともかく、ほとんどの人は知らないのが実情です。

そこで、「市民の会」では、坂川のさかなを実際に獲って、水槽で観察しながら専門家に解説してもらう「坂川のさかなを観察する会」を、7 月 18 日午後 1 時 30 分から宮園の親水公園（東洋学園大学裏・鯉のぼりや E ボートの乗り降りの場所）で開催します。ちょうど「海の日」の 3 連休の最終日で夏休み入り直前、自由研究のテーマ探しにも最適です。

魚の捕獲調査は幸田橋～大金平大橋間の「坂川」と「みやぞの池」で行います。これでカワセミやカイツブリが獲っている小魚の名前も分かるでしょう。解説は建設環境研究所の専門家の武山直史さん、阿部直己さんのお二人です。質問にも答えてもらいます。

18 日の展示のために、17 日から網や仕掛けを設置し、投網による捕獲などの作業を幸田橋から大金平大橋の間でします。作業に支障のない範囲で土手から、珍しい投網などの様子を眺めることもできます。

参加費は無料です。流山では小学 4 年で坂川の勉強をします。小学生は関心のある友達を誘って、また家族みんなと一緒に、大勢の参加を待っています。



カイツブリのひな 今年は 5 羽が誕生

野鳥の池で今年も、カイツブリのひな 5 羽が誕生しました。池では 5 月にカルガモが誕生し、親がヒナを連れてしばしば宮園の町の芝桜の花壇にも出て歩き回っている様子が見られました。

カイツブリの誕生はそれから 1 ヶ月ほど後のことで、5 羽が生まれました。写真は 6 月 14 日朝の撮影で、5 羽のうちの 1 羽が親鳥の背中に乗って、「楽ちんだね」とばかりです。

撮影で、5 羽のうちの 1 羽が親鳥の背中に乗って、「楽ちんだね」とばかりです。

ホタルは7月10日過ぎにも飛ぶ…か!?

6月18日に放流会 289匹の幼虫を放す



撮影：鵜沢敏明

「みやぞの野鳥の池」でホタルが見られたら素晴らしい一、こんな夢から始まった「ホタル復活計画」は今年3年目を迎え、6月18日の幼虫放流会では、289匹の幼虫が池の藤棚広場わきの小池に放流しました。

今年は幼虫飼育ボランティアに26人が参加。その幼虫のうち、放流に適するまでに育った幼虫を、NPOホタル野の高橋理事長に選別してもらい、“合格”した289匹が、それぞれの飼育者の手で、願いを込めて一斉に放流されました。

放流されたホタルは、間もなく池の水際の土に潜ってサナギになり1ヶ月ほど過ごして、成虫としてのホタルとなって出てきます。それも厳しい自然界では、ほんの数パーセントと言われます。昨年は1日に最大で7匹が確認されました。

予想では7月10日の週以降と考えられます。ホタルはそれから1週間ほどで、その一生を終えます。夕方8時前後に、夕涼みがてらに是非とも池の小池を観察して下さい。

「きれいな町 元気な町」づくり

清掃・除草活動に協力下さい



「市民の会」ではみやぞの池と坂川の水辺の環境を維持するため、雨でない限り毎月2回第1、第3土曜日の朝9時から、1時間を目途に清掃・除草活動を継続しています。池周囲の芝桜花壇や藤棚広場の管理や、坂川の親水公園、土手(宮園～幸田橋間)の散歩道の除草が、その具体的な活動です。

人手が多ければ、活動は効率的で短時間で終わります。多くの方のご協力を、是非

ともお願いします。当面の活動日は下記の通りです。午前9時少し前に藤棚広場にお集まり下さい。

7月＝2日、16日

8月＝6日、20日

「水辺フェスタ」今年は10月22日

鱒ヶ崎小音楽部が初めて出演

坂川をバックにしたユニークなイベント「水辺フェスタ in 宮園」は今年、10月22日(土)に開催、鱒ヶ崎小音楽部が初出演します。ご期待ください。